

# 平成26年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 平成26年度～平成28年度 3力年の基本方針

## ○全社的な重点項目

「災害からいのちを守る日本赤十字社」の確立

## ○組織基盤の強化

「より信頼される日本赤十字社」を目指して

# 平成26年度事業計画の重点

## 1. 国内災害救護体制の充実強化

- (1)「救護」の再定義
- (2)防災・減災への取り組みの推進

## 2. 組織基盤の強化

- (1)社員制度の見直しの検討
- (2)ボランティアの活性化
- (3)財政基盤の強化

# 1. 国内災害救護の実施と対応能力強化

## (1) 災害救護活動の実施



広島県大雨災害における救護活動



長野県神城断層地震における救護活動

主な災害名	救護班	救援物資
岩手県盛岡市林野火災	—	毛布50枚、緊急セット36個 安眠セット90個他
台風第8号等に伴う7月6日からの 大雨等災害(山形、長野、沖縄)	—	毛布590枚、緊急セット45個、 安眠セット60個
台風第12号及び台風第11号に伴う 大雨等災害(山口、徳島、高知)	—	毛布2,205枚、緊急セット722個、 安眠セット170個他
8月19日からの広島県大雨災害	17班	毛布1,110枚、緊急セット522個、 安眠セット70個他
御嶽山噴火災害	13班	毛布580枚、安眠セット150個

## (2)「救護」の再定義

- ・体制の整備、救護規則の改正に向けた整理・研究

## (3)人材の育成

- ・救護員の養成及び救護訓練の実施
- ・災害医療コーディネートチーム研修会の開催



第5ブロック合同災害救護訓練  
(山口県山口市)



シミュレータを用いた実践訓練  
(兵庫県支部)



## (4) 防災関係機関との連携強化

- ・ 合同訓練の実施
- ・ 業務協力に関する協定締結



自衛隊との合同訓練



海上保安庁との協定調印式

## 2. 防災・減災への取り組み

### (1) 地域コミュニティでの取り組み

- 地域でのニーズに合致するプログラム、カリキュラム等の検討及びパイロット事業の実施



地域の住民による防災マップ作成



毛布を用いた傷病者の搬送



## (2) 学校教育を通しての取り組み

- ・防災教育プログラム教材の製作
- ・教員を対象とした研修会を開催 ⇒ 全国に普及予定



防災教育プログラム教材  
「まもるいのち ひろめるぼうさい」



防災授業

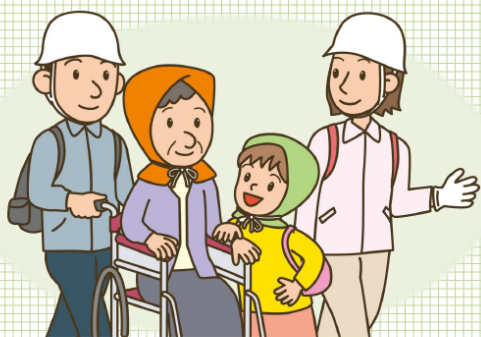
### (3) 赤十字講習を通じた普及啓発

#### ・赤十字講習への防災メニューの取り入れ

赤十字防災啓発プログラム

地域で考える

災害時の備え



 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

防災啓発プログラム  
「地域で考える災害時の備え」



防災メニューを取り入れた赤十字講習

### 3. 国際活動

#### (1) エボラ出血熱への対応

- ・医師を派遣し、感染拡大防止と患者への治療を指導
- ・国境なき医師団との共催による説明会の開催



国境なき医師団との共催による説明会



- (2) 救援活動 ⇒ 中東人道危機
- (3) 復興支援 ⇒ フィリピン中部台風復興支援
- (4) 開発協力 ⇒ 災害対策事業、地域保健強化事業、  
母子保健事業など
- (5) 人道問題への関心の喚起



子どもたちに衛生管理の大切さを伝える要員



近衛社長と赤十字国際委員会のペーター・マウラー総裁が広島を訪問

## 4. 東日本大震災復興支援事業の実施

- 生活再建支援
- 福祉サービス支援
- 教育支援
- 医療支援
- 原発事故対応



被災者の健康状態を確認する看護師



わんぱく元気スクール



## 5. 原子力災害対策への取り組み

- ・第3回原子力災害対策関係国赤十字社会議の開催
- ・「原子力災害における救護活動ガイドライン」の策定
- ・赤十字原子力災害情報センターでの情報収集及び発信



会議で発言する参加者



わかりやすいプロジェクト  
国会事故調編高校生チーム

## 6. 赤十字講習事業の普及

- ・市民が受けたい項目が選択できる赤十字防災啓発プログラムの開催
- ・救命手当短時間講習の実施、着衣泳講習の実施
- ・企業・団体とのタイアップ講習の実施

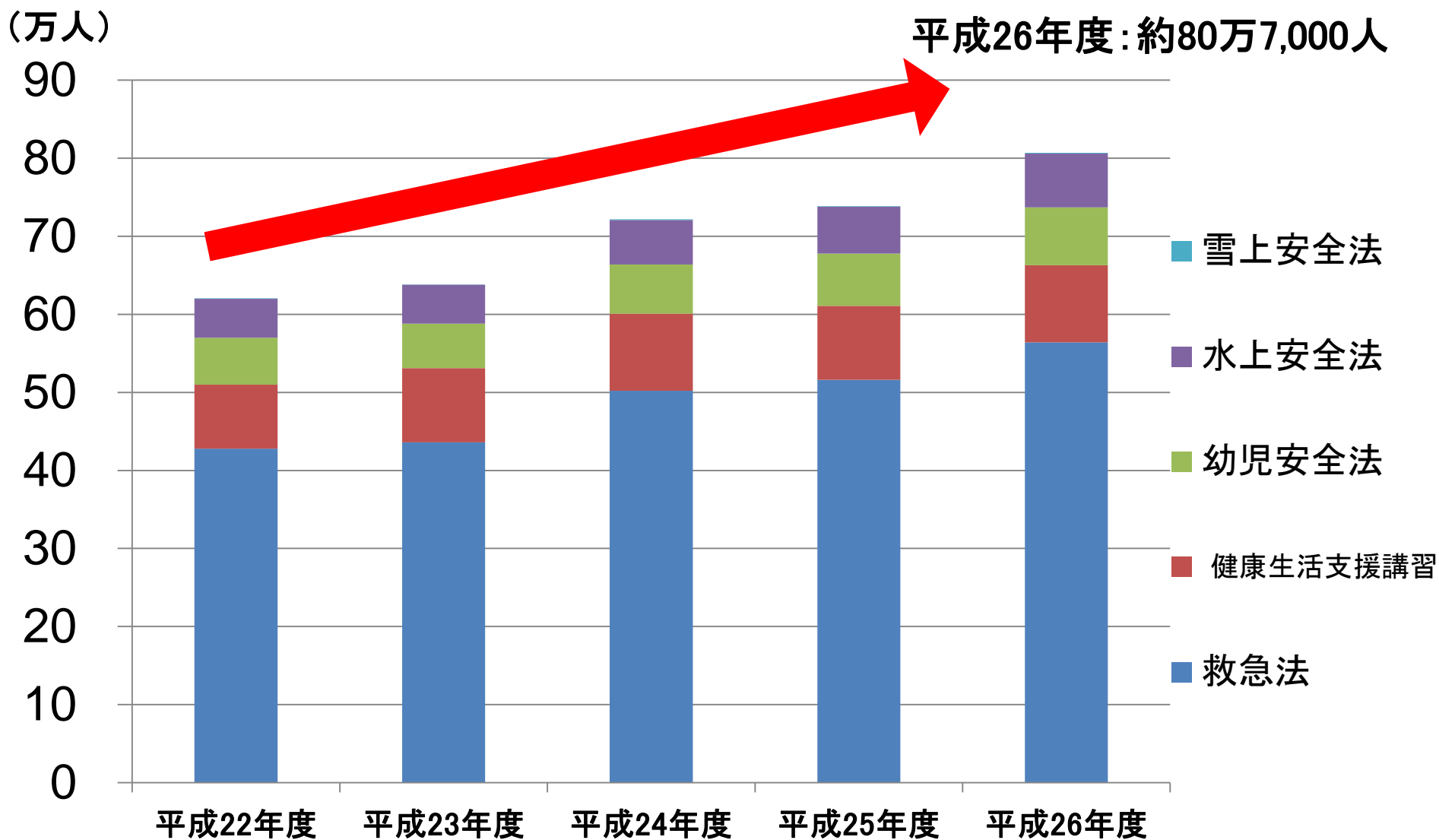


幼児安全法の講習

# 平成26年度 赤十字講習受講状況

講習名	受講者数（構成割合）		計（人）
	一般普及講習	短期講習	
救急法	92,946(16%)	470,781(84%)	563,727
健康生活支援講習	4,242(4%)	94,925(96%)	99,167
幼児安全法	5,914(8%)	67,805(92%)	73,719
水上安全法	3,743(5%)	65,260(95%)	69,003
雪上安全法	406(39%)	636(61%)	1,042
計(%)	107,251(13%)	699,407(87%)	806,658

# 赤十字講習受講状況の推移





## 7. 赤十字ボランティアの活動

- ・ボランティアリーダーの養成
- ・青年赤十字奉仕団によるHIV/AIDS予防啓発活動
- ・参加しやすいしくみ作り



パートナーシップ大学の学生ボランティアが  
青少年赤十字国際交流集会に参加



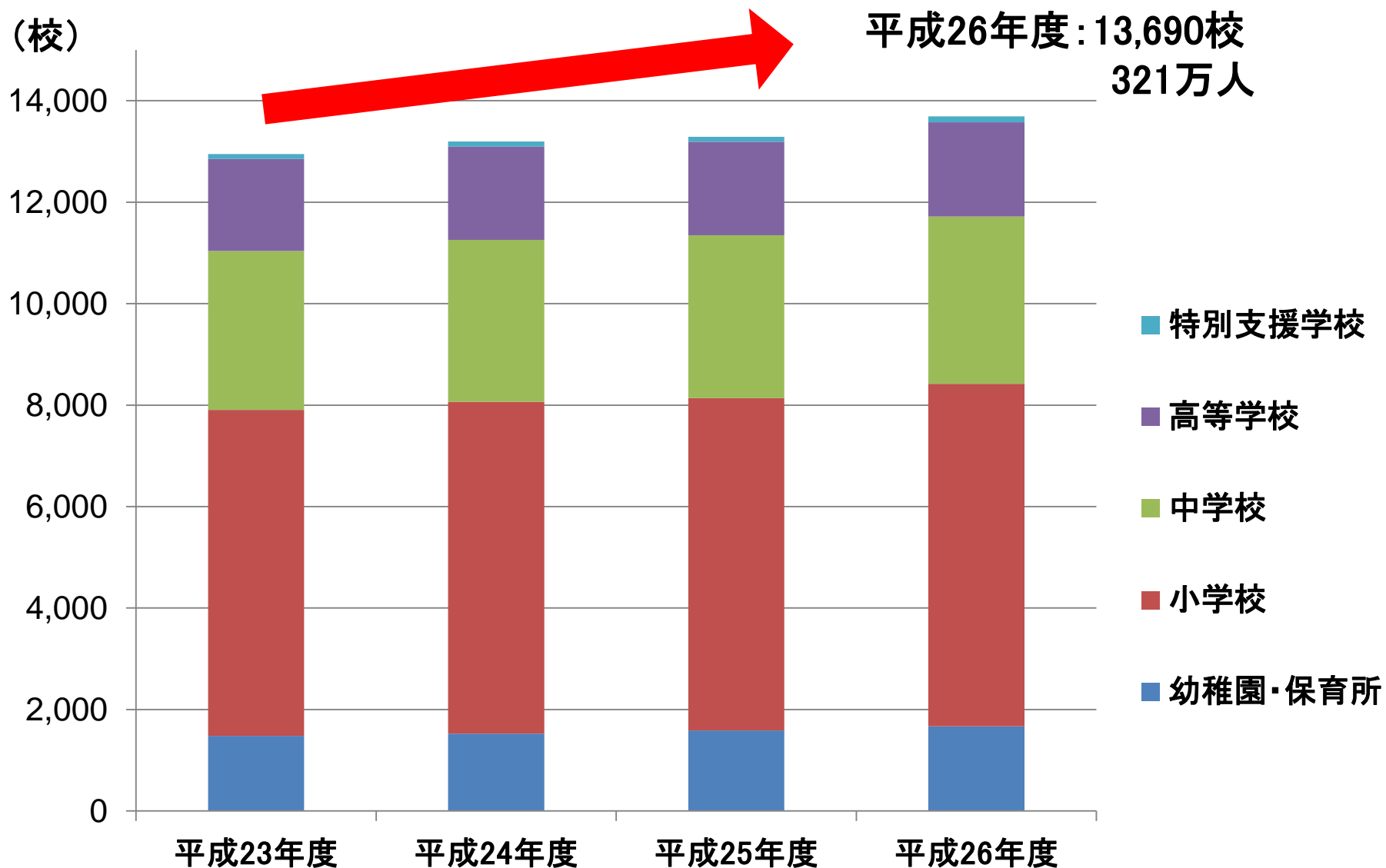
## 8. 青少年赤十字の活動

- ・防災教育プログラム教材  
「まもるいのち ひろめるぼうさい」の制作
- ・国際交流の推進
- ・教育等支援事業の実施



青少年赤十字国際交流集会においてグループディスカッションの成果を発表するメンバー

## 青少年赤十字の加盟校の推移

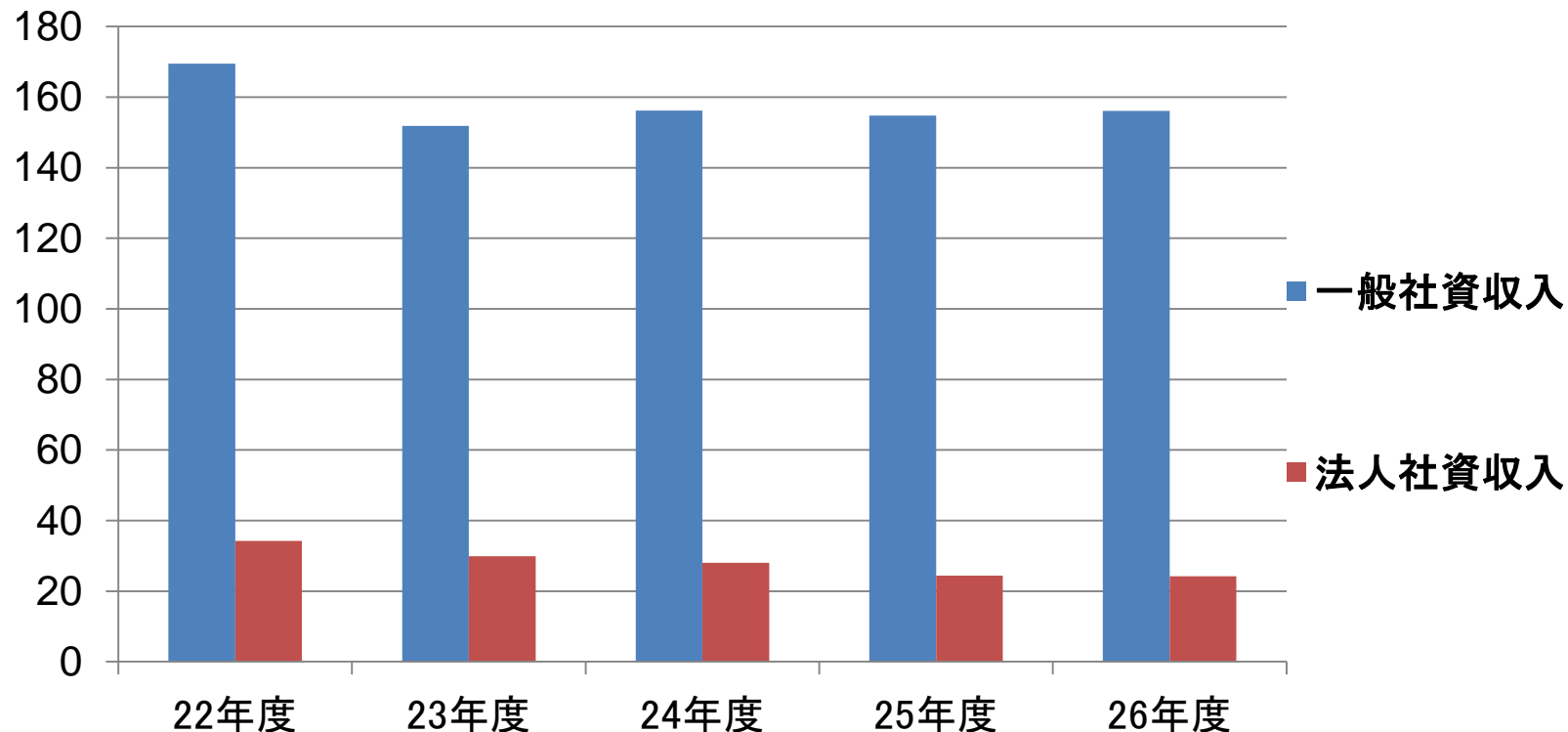


## 9. 社員と社資募集の状況

個人社員：960万人 法人社員：12万社

- ・多様な社資募集方式
- ・企業、団体とのパートナーシップの推進
- ・社員制度の見直しの検討

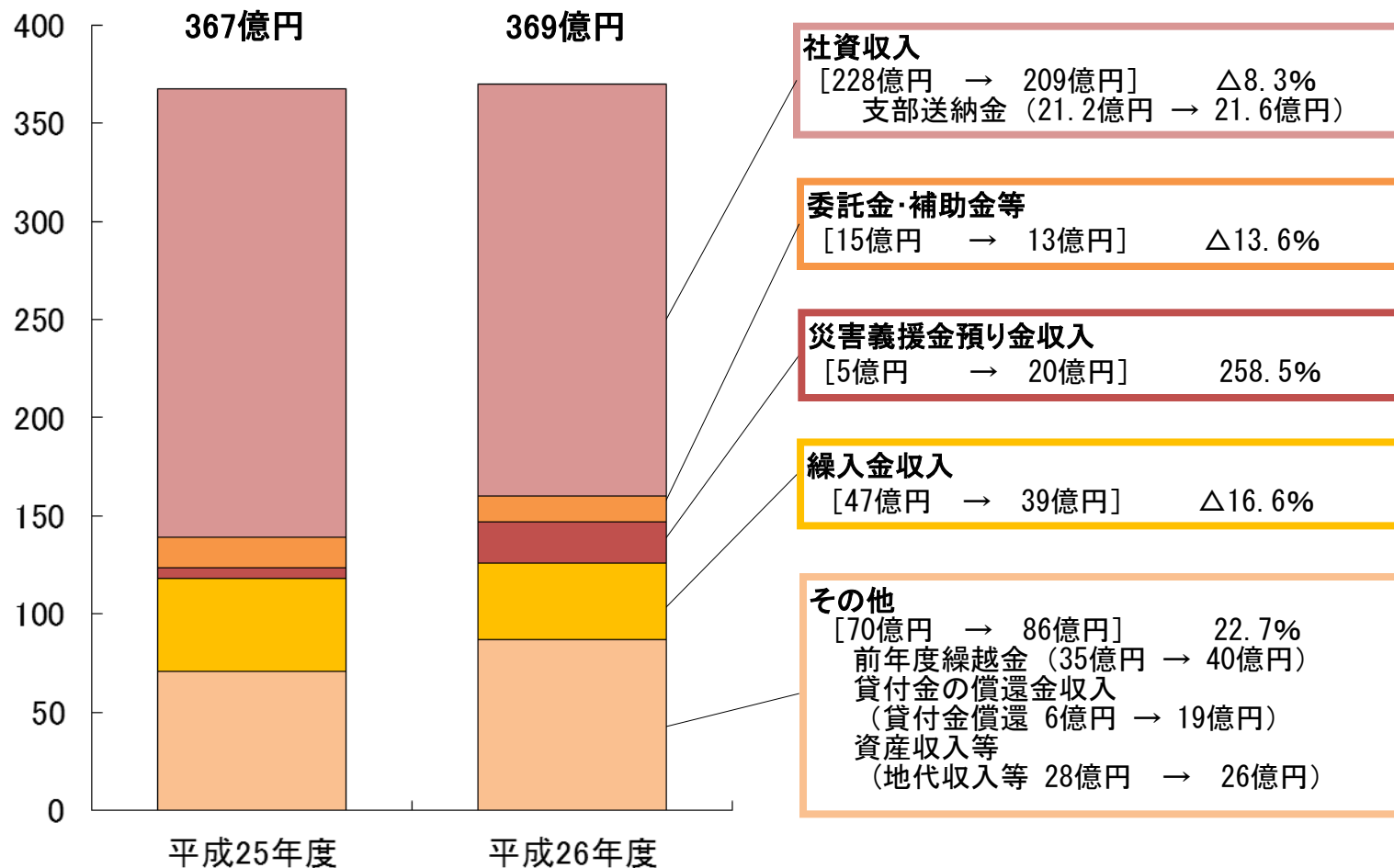
(億円)



# 10. 一般会計歳入決算のあらまし

※東日本大震災にかかる義援金・  
海外救援金分を除く

(億円)

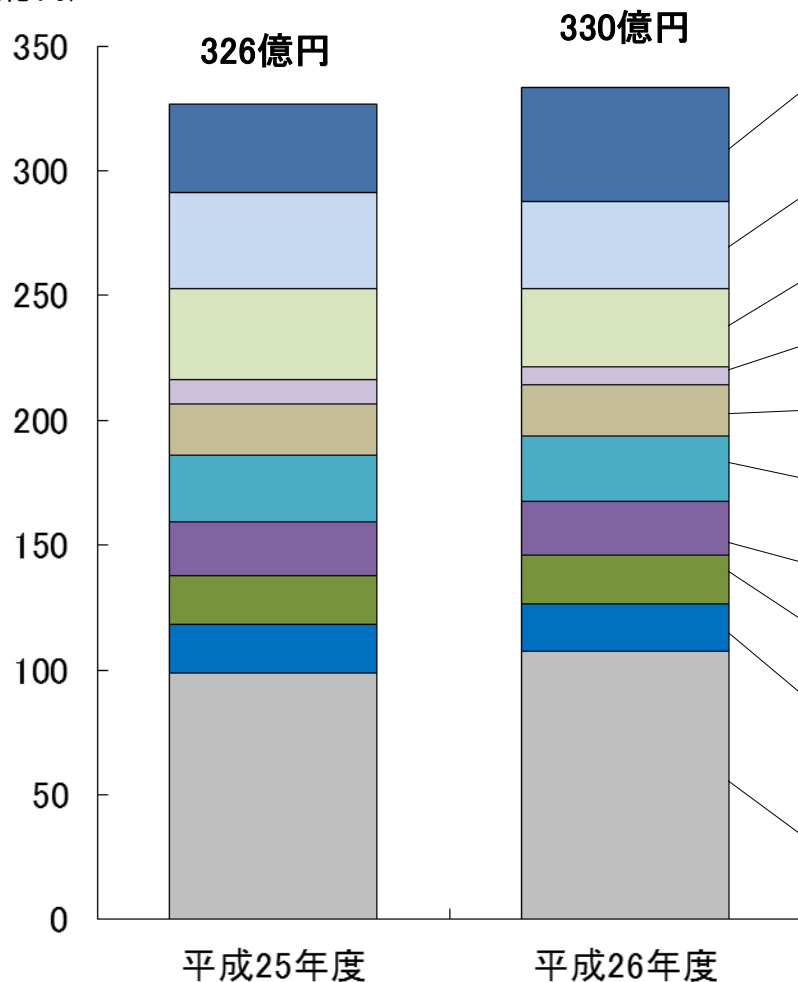


	平成25年度	平成26年度	増減率
歳入合計	367億円	369億円	0.6%

# 11. 一般会計歳出決算のあらまし

※東日本大震災にかかる  
義援金・海外救援金分を除く

(億円)



## 災害救護事業費

[35億円 → 45億円] 29.6%  
災害義援金送付金 (5億円 → 20億円)

## 社会活動費

[38億円 → 34億円] △8.9%

## 国際活動費

[36億円 → 31億円] △14.9%

## 指定事業地方振興費

[9億円 → 7億円] △22.8%

## 地区分区交付金

[20.9億円 → 20.3億円] △2.9%

## 社業振興費

[26.5億円 → 26.3億円] △0.9%

## 本社送納金

[21.2億円 → 21.6億円] 1.9%

## 基盤整備交付金補助金支出

[19.5億円 → 19.2億円] △1.5%

## 資産取得及び資産管理費

[19億円 → 16億円] △18.4%

## その他

[98億円 → 107億円] 8.6%  
償還金 (3億円 → 19億円)  
積立金 (46億円 → 44億円)  
総務管理費等 (47億円 → 42億円)

	平成25年度	平成26年度	増減率
歳出合計	326億円	330億円	1.1%
歳入歳出差引額	40億円	39億円	



## 12. 東日本大震災義援金の歳入歳出

歳入

79億8,544万2,025円

歳出

79億8,544万2,025円

(歳出内訳)

○被災都道府県の義援金配分委員会への送金額

68億8,112万7,011円

○翌年度繰越額(事業準備積立金支出)

11億431万5,014円

(参考)

○平成26年度までに受け付けた義援金総額

3,348億5,708万1,217円

○平成26年度までに被災都道府県の義援金配分委員会へ 送金した総額

3,337億5,276万6,203円

## 13. 東日本大震災海外救援金の歳入歳出

**歳入 130億円（累計1,000億円）**

（内訳）

前年度繰越額 130億円

**歳出 130億円（累計904億円）**

（内訳）

○事業費用	35億円
生活再建	2億円
教育支援	5億円
医療支援	22億円
原発事故対応	1億円
管理費	2億円
○翌年度繰越額	95億円
（事業準備積立金支出）	

（参考）平成27年度以降の主な事業

- ・災害対策公営住宅の整備（岩手県大槌町）
- ・気仙沼市民福祉センターの整備（宮城県気仙沼市）
- ・戸倉公民館の整備（宮城県南三陸町）
- ・石巻赤十字病院災害医療研修センターの整備（宮城県石巻市）
- ・公立志津川病院等の整備（宮城県南三陸町）
- ・原子力事故の人的対応プロジェクトの推進

# 14. 一般会計歳入歳出決算(全体)

## 歳入決算(一般会計全体)

580億円

(内訳)

・東日本大震災にかかる  
義援金・海外救援金分を除く 369億円

・東日本大震災義援金・  
海外救援金関係

[	義 援 金	79億円
	(災害義援金預り金)	
	海外救援金	130億円
	(寄付金等収入・繰入金収入)	

## 歳出決算(一般会計全体)

540億円

(内訳)

・東日本大震災にかかる  
義援金・海外救援金分を除く 330億円

・東日本大震災義援金・  
海外救援金関係

[	義援金送金額等	79億円
	(事業準備積立金支出含む)	
	海外救援金事業費用	130億円
	(事業準備積立金支出含む)	

	平成25年度	平成26年度	増減額
歳入合計	680億円	→ 580億円	△100億円
歳出合計	640億円	→ 540億円	△99億円
歳入歳出差引額	40億円	→ 39億円	△1億円

# 15. 資金特別会計決算のあらまし

## 退職給与資金特別会計

歳入歳出決算額 246億円

基金在高 398億円

歳入 ・ 退職給与資金積立金 103億円  
・ 退職給与基金繰入金 143億円

歳出 ・ 退職給与資金交付金 240億円  
・ 退職年金資金特別会計繰出金 5億円  
退職者数 4,926人

## 退職年金資金特別会計

歳入歳出決算額 10億円

基金在高 8億円

歳入 ・ 退職給与資金特別会計繰入金 5億円  
・ 退職年金基金繰入金 5億円

歳出 ・ 退職年金給付費 10億円  
閉鎖年金給付対象者数 1,768人

## 損害填補資金特別会計

歳入歳出決算額 2億円

基金在高 103億円

歳入 ・ 損害填補資金収入 1.7億円  
・ 出資金償還金収入 0.3億円

歳出 ・ 保険料 0.6億円  
・ 損害填補費 0.7億円  
・ 損害填補基金編入金 0.6億円  
損害填補費交付件数 24件